



IRS

アゼルバイジャンを発見する際

写真：本文：サビナ・トゥマンスカヤ

シエキ - 素晴らし くて美しい



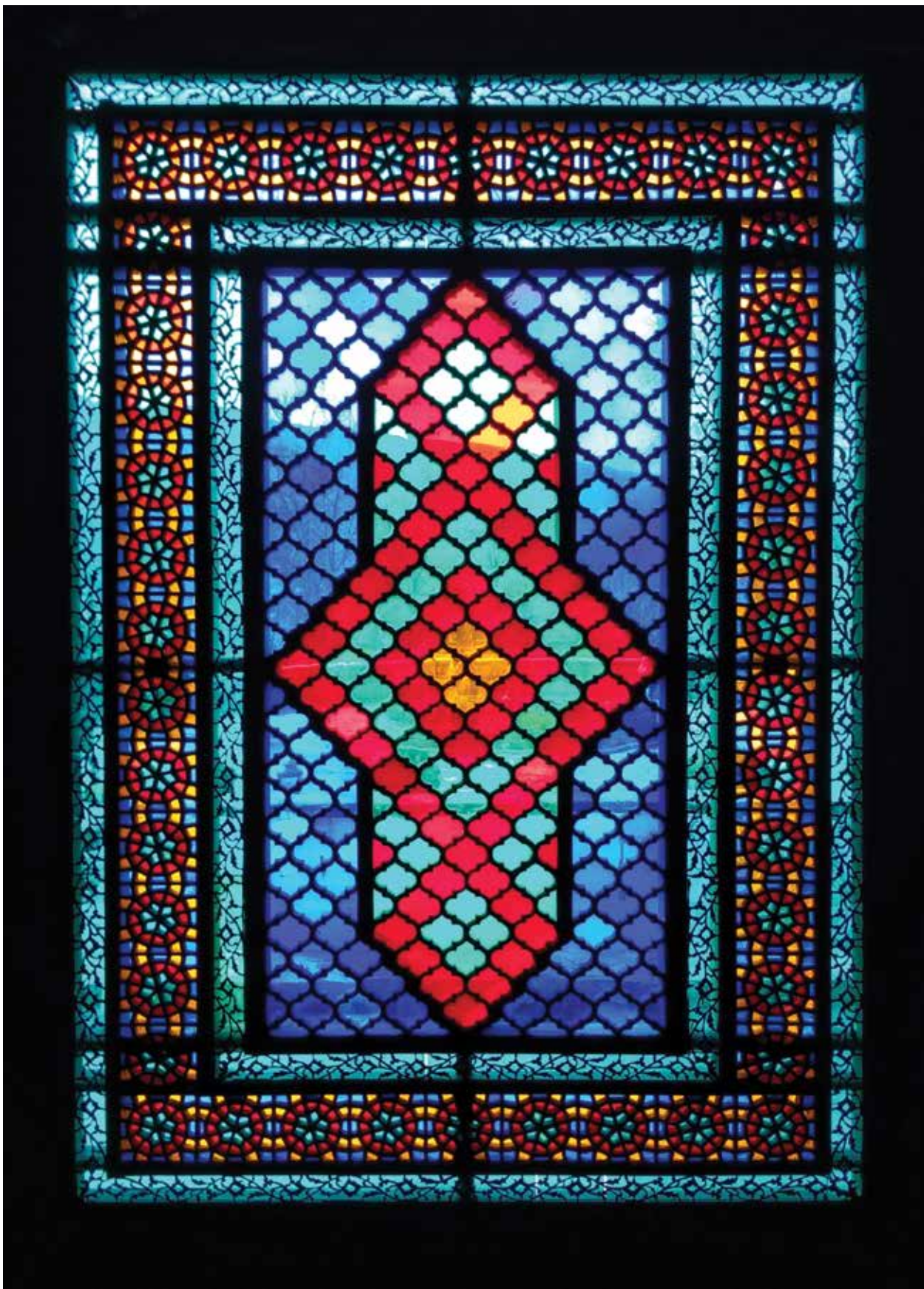


シエキはアゼルバイジャンの北西部、グルジアとの国境近くに位置しています。バクーからは約300キロメートルで、車で約4時間かかります。道路は絵



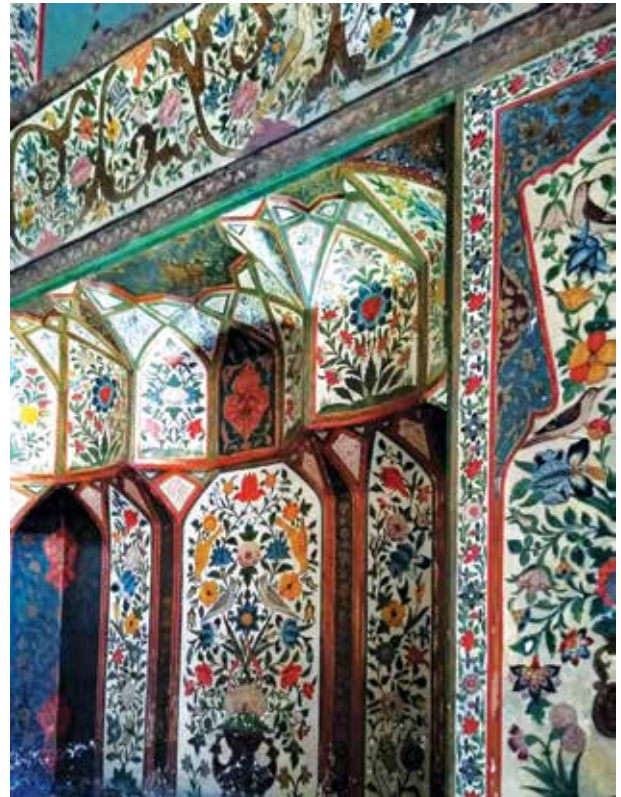
のように美して— 川や、野原や、そして最も重要なのはまるで主要な宝石である「古代都市シエキ」を囲んでいるかのように、鬱蒼とした森に覆われた山々です。以前はヌーハと呼ばれ、何世紀にもわたって重要な宗教と商業の中心地でした。紀元前8世紀にはすでにここに定住地があったにもかかわらず、歴史的情報のほとんどはキリスト教がこの地に伝わったとき、コーカサスのアルバニア時代に遡ります。7世紀にアラブ人がアゼルバイジャンを征服し、この国がアラブ・カリフ制に組み込まれた後、シエキはアラブ・ハザール戦争の領域に繰り返し陥落した。中世後期には比較的平穏な時代が始まり、都市が独立したシエキ・ハン国の首都となりました。シエキは現代ではまさにそんな中世都市のようで、古い町並みの魅力と歴史的建造物の美しさを保存することができました。シエキの最も有名な名所は、18世紀に建てられたシエキ・ハン宮殿です。同じ頃、街の歴史的部分を囲む城壁も建設されました。シエキ・ハン宮殿は赤レンガと石畳で建てられており、主要なファサード全体がシェベ







ケで装飾されています。これらは、1 平方メートルあたり 3 ~ 7,000 個の部品を含む、ユニークな色の昇降スタンド グラス窓です。全て手作業で組み立てられ、接着剤や釘などを使わずに、フックで繋がれています。宮殿の敷地内では、色とりどりの光がシベケを通過し、部屋の壁に描かれた壮大な絵画を照らしています。一部の区画は狩猟や軍事作戦に特化しており、残りはさまざまな種類の鳥や植物が生息する素晴らしい庭園となっています。それらのほとんどすべては神聖な意味を持っていて、生命の木や、神聖な孔雀や、そして豊かさの象徴であるザクロなどがあります。つまり、シェキ・ハーンは宮殿の装飾に手を抜かなかったのです。玄関前の中庭には樹齢500年以上のカーンプラタナスの木がある。次に観光客がよく訪れる場所は中央通りで、ここには、17世紀から18世紀に建てられた、保存状態の良い2つのキャラバンサライがあります。それらはユハリーとアシャギ(上と下)と呼ばれています。貿易旅行中にシェキを訪れた商人たちはここで泊まりました。現在で



は、キャラバンサライで夜を泊まり、おいしい軽食を食べることもできます。興味深い場所がたくさんある市内を散策するには、少なくとも2日間シェキに泊まることをお勧めします。ユハリーキャラバンサライ(上)の横には、18世紀頃に建てられた「イマームアリ」モスクがあります。近くには同時代の「ハンモスク」もあり、その中庭にはシェキ族の統治者とその家族が埋葬されています。ロシア帝国時代にすでにシェキ・ハーンの子孫が住んでいたシェキハノフの家では、美しい絵画を見ることもできます。アルバニア正教会の寺院「三聖人教会」の建物には現在民俗応用芸術博物館があります。ここではシェキ族の伝統的な生活を見ることができ、そしてもちろん、古代の工芸品の例にも見ることができます。以前と同様に、シェキでは宝飾品、エンボス加工、木工品、銅と陶器の生産が発展しています。特に注目すべきは、パパハ、楽器、以前は主に男性がやった伝統的なテケルドゥズの刺繍の生産であります。しかし、シェキのシンボルはいつでも、そしてこれからも絹製品、すなわち有名なシル



クスカーフ「ケラガイ」です。19世紀には、世界最大の絹糸巻き工場がシェキで操業していました。ソ連時代には絹工場が建てられおり、現在でもカーペット、スカーフ、織物が生産さ

れています。植物のショップではオリジナル商品を購入することができます。シェキから持ち込める商品といえば、第一でシェベケのお土産、そしてもちろん地元のお菓子です。

シェキ・ハン宮殿の近くには、シェベケの工芸品センターがあります。ここでは、これらのユニークな製品がどのように作成されるのを見ることができます。カットされたガラス片は、接着剤や追加の留め具を使用せずに、準備された木材に挿入されます。これらはすべて宝石商の精度で行われ、1ミリメートルでも違いがあると、すべてを再度切り出す必要があります。職人たちは、シェベケがモダンなインテリアに溶け込むように、ランプ、鏡、箱などを作っています。

シェキのお菓子はメインの遊歩道で販売されていて、地元の米粉のバクラヴァや、砂糖でコーティングしたナッツや、バミヤ(砂糖シロップで揚げた生地)や、ペシェヴェング(砂糖繊維のハルワ)などその他の珍味があります。





味はとても面白いですが、どれも信じられないほど甘いことに注意してください。シェキ族は自分たちのお菓子にとっても誇りを持っており、家族のレシピを嫉妬深く守っています。市内には「アリ・アフメド」や、「ヤヒヤ」や、「マフムード」などのハルヴァチ店(世襲の菓子職人)があります。そしてもちろん、メインの地元料理であるピティを試さずにシェキを離れることはできません。柔らかい子羊肉とノクド(エンドウ豆)を加えた脂っこい濃厚なスープを土鍋で作ります。ピクルスとスマフ(スパイス)を添えて、必ずパンかピタパンと一緒に食べます。ピティを提供する最も有名なレストランは「ガガーリン」です。宇宙飛行士はここに来たことがありません、この公園は単に宇宙飛行士に敬意を表して名付けられただけです。ここからは街の素晴らしい景色が見えます。しがし、最近では、豊富な種類の料理と興味深いインテリアを備えた郷土料理のレストラン「VIP Karvan」と競合しています。ピッティ ポットやその他の粘土製の食器は、観光地の通りにある店で購入できます。シェキにはシェキ・ハン宮殿の側に位置している、陶器と応用芸術の

センター「アバド」もあります。シェキのどこに行っても、いつも何か珍しいものを見つけることができます。きっと、まだたくさんの興味深いことが残っている、この古く、素晴らしく、美しい街にまた行きたくなるでしょう! 🌟

